

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、経営方針に掲げている「地域社会とともに持続的に発展」することを目指し、これまで様々な事業を推進してまいりました。お客様や株主・投資家、地域社会、従業員、取引先をはじめとする様々なマルチステークホルダーとの適切な協働によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、社会と当社グループの持続的発展の実現につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組みを進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、人材は重要な資産であり、長期経営ビジョンにおける「つなぐ」取組みの推進役であると考えております。多様な社員の「能力と可能性」を重要課題と掲げ、様々な人材投資によって、従業員への持続的な還元を目指しております。

具体的には、現在から将来の企業環境の変化に対応し、自ら考え自ら行動する人材の育成を目的とした社員の資質と技能の向上を階層別研修、公募型研修、自己啓発教育などによって図るとともに、ダイバーシティの取組みを加速推進していきます。また、社員一人ひとりが個人の属性やライフステージにかかわらず、活躍できる環境を整備していきます。更に、社員が心身ともに健康で生き生きと働くことが企業の持続的な成長に繋がるという考えのもと、2021年10月に制定をした「健康宣言」に基づき、健康経営施策についても積極的に推進していくとともに、若年層を中心とした賃金の引上げを段階的に実施していくなど、様々な施策による社員の働きがい向上や生産性向上を通じ、ステークホルダーに提供される付加価値の最大化を図るべく、取り組んでまいります。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日  
【2023年4月19日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL  
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/28388-08-00-tokyo.pdf>】

#### 3. その他のステークホルダーに関する取組

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

2023年4月27日

東武鉄道株式会社

取締役社長 根津 嘉澄